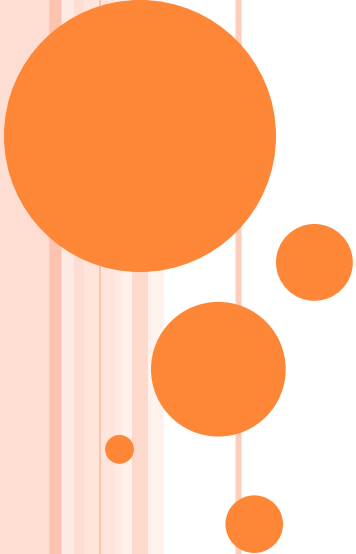




新規プロジェクトの作り方

- Visual studio2010でプログラムをデバッグしましょう.
- プロジェクトとして作って、ヘッダー、ソース、ライブラリファイルを管理しましょう.



新規プロジェクト

○ ファイル

→

新規作成

→

プロジェクト

そこで作成したい場所や名前を入力する



最近使用したテンプレート

インストールされたテンプレート

Visual C++

ATL

CLR

全般

MFC

テスト

Win32

▷ 他の言語

▷ その他のプロジェクトの種類

▷ データベース

モデリング プロジェクト

▷ テスト プロジェクト

オンライン テンプレート

.NET Framework 4

並べ替え基準: 既定



インストールされたテンプレートの検索



Win32 コンソール アプリケーション

Visual C++



Win32 プロジェクト

Visual C++

種類: Visual C++

Win32 コンソール アプリケーションを作成するためのプロジェクトです。

名前(N):

kisorinn

場所(L):

C:\Users\Demo\Desktop\try-DLP\

参照(B)...

ソリューション(S):

新しいソリューションを作成する

ソリューション名(M):

kisorinn

☒ ソリューションのディレクトリを作成(D)

☐ ソース管理に追加(U)

OK

キャンセル



Win32 アプリケーション ウィザードへようこそ

概要

アプリケーションの設定

現在のプロジェクト 設定:

- コンソール アプリケーション

現在の設定を有効にするには、完了をクリックしてください。

プロジェクトの作成後、プロジェクトの readme.txt ファイルでプロジェクトの機能と生成ファイルに関する情報を参照してください。

< 前へ

次へ >

完了

キャンセル



アプリケーションの設定

概要

アプリケーションの設定

アプリケーションの種類:

- ☐ Windows アプリケーション(W)
- ☒ コンソール アプリケーション(C)
- ☐ DLL(D)
- ☐ スタティック ライブラリ(S)

共通ヘッダー ファイルを追加:

- ☐ ATL(A)
- ☐ MFC(M)

追加のオプション:

- ☒ 空のプロジェクト(E)
- ☐ シンボルのエクスポート(X)
- ☒ プリコンパイル済みヘッダー(P)

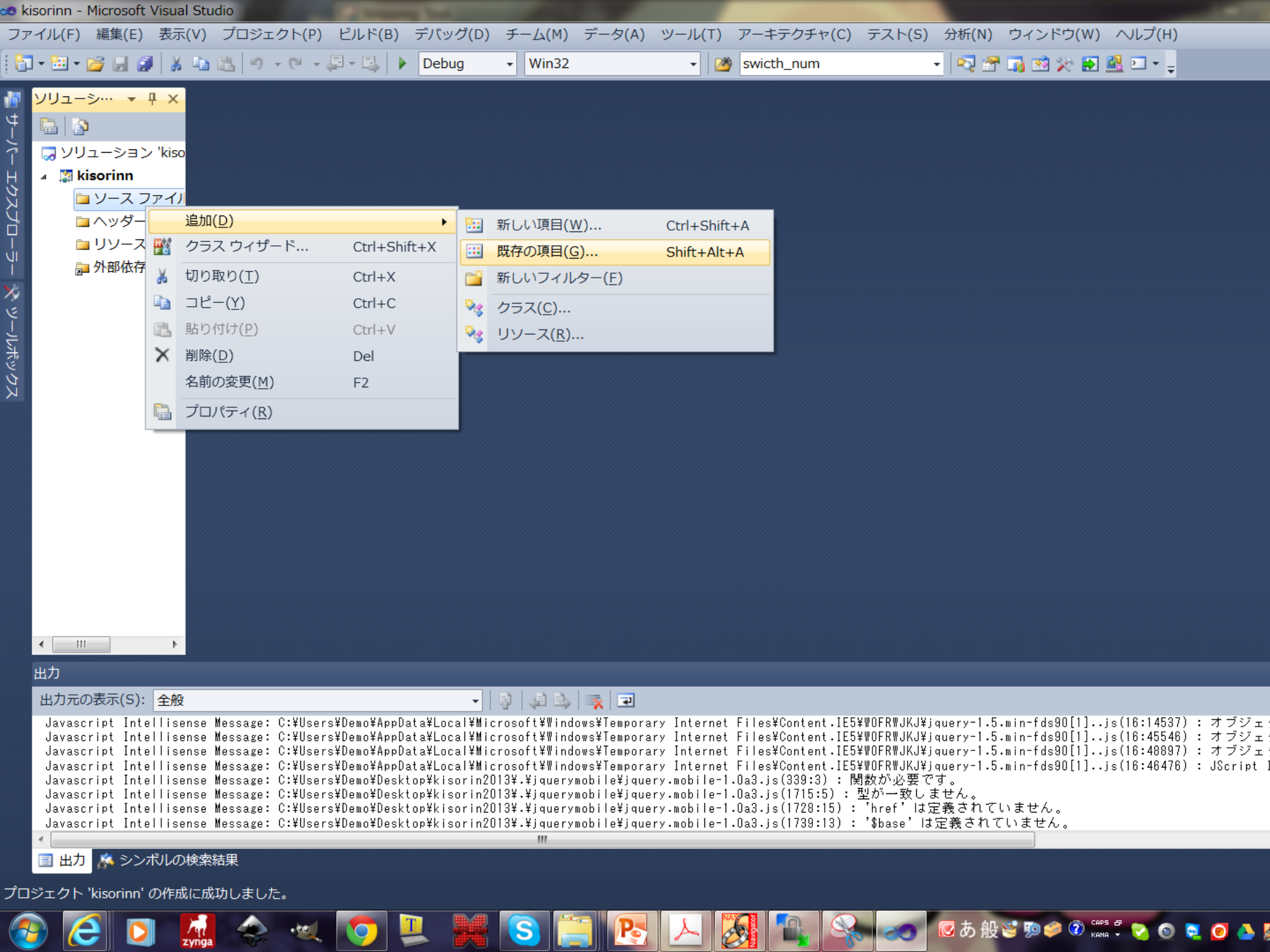
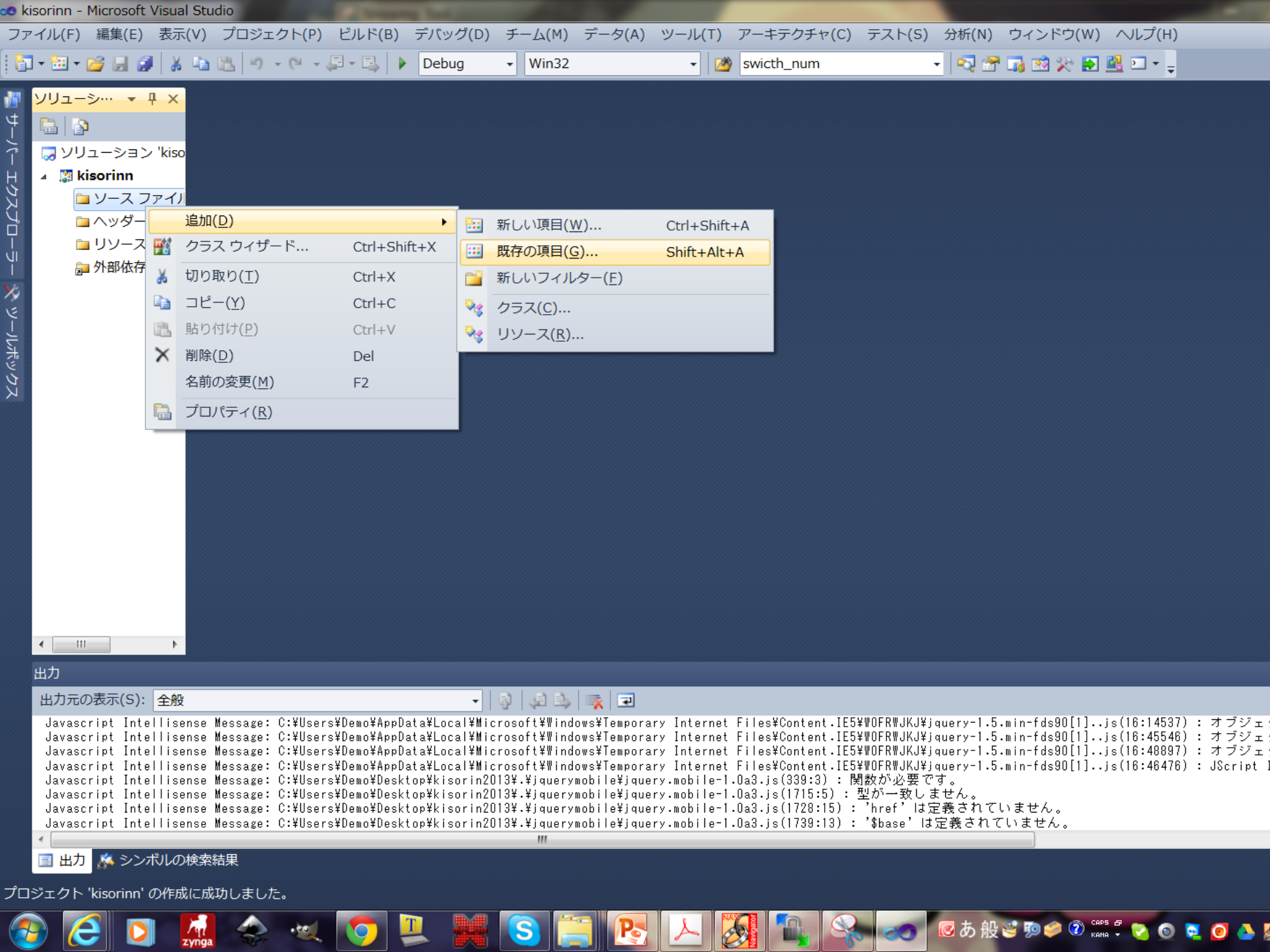
ここをクリック↑

< 前へ

次へ >

完了

キャンセル



既存ファイルの追加

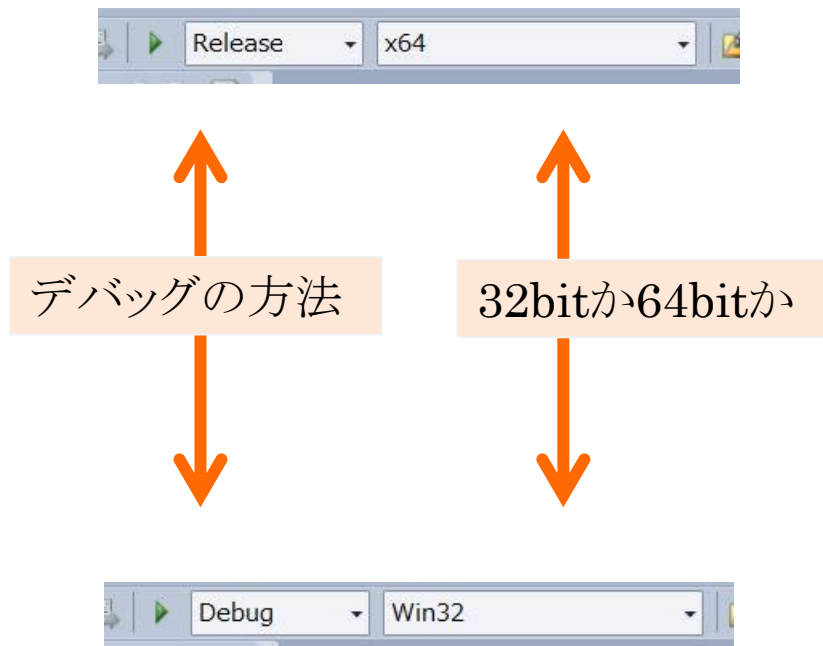
- ソースファイル
 - 右クリック
 - 追加
 - 既存の項目
 - main.cppを選ぶ
- ヘッダー
 - 右クリック
 - 追加
 - 既存の項目
 - main.h を選ぶ

F5 でビルド:デバック開始



デバッグ方法の選択

- 必要に応じてデバック方法を変えよう！



- ただし,32bitと64bitを切り替えると必要なlibファイルなどが変わるので注意



インクルードファイルなど

- インクルードファイル

→用意されている関数の宣言

(ex OpenCVの場合 `opencv.hpp`とか)

- ライブラリファイル

→用意されている関数の中身

(ex OpenCVの場合 `opencv_core240d.lib`とか)

OpenCVを使いたければVisualStudioの設定で
上記のファイルがどこにあるのかを設定する必要がある.



ディレクトリの設定

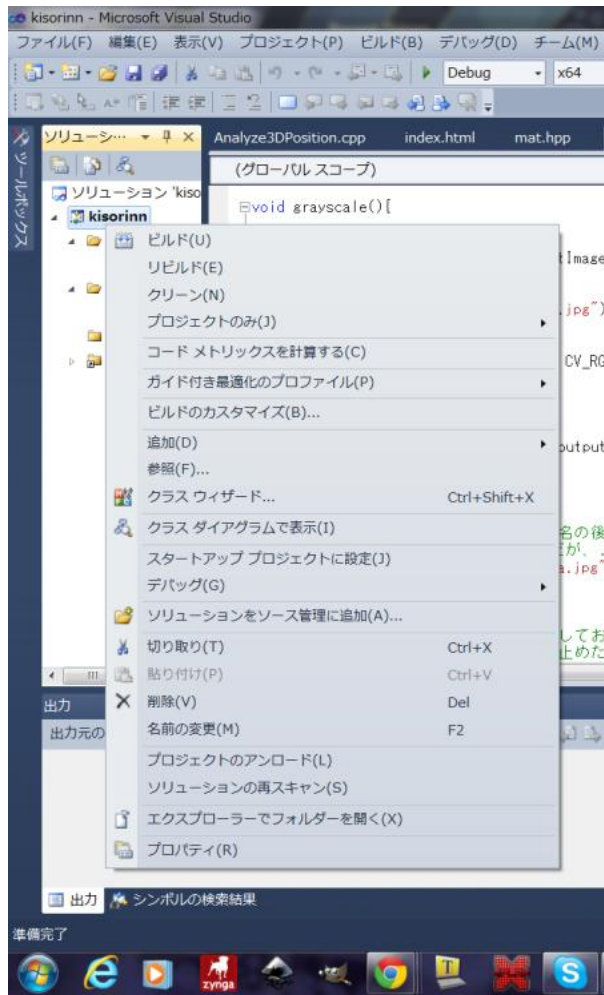
- うまくインストールが出来ていない場合など
手動でディレクトリを設定する方がよい時がある

エラーがでたらこれ以降のページ

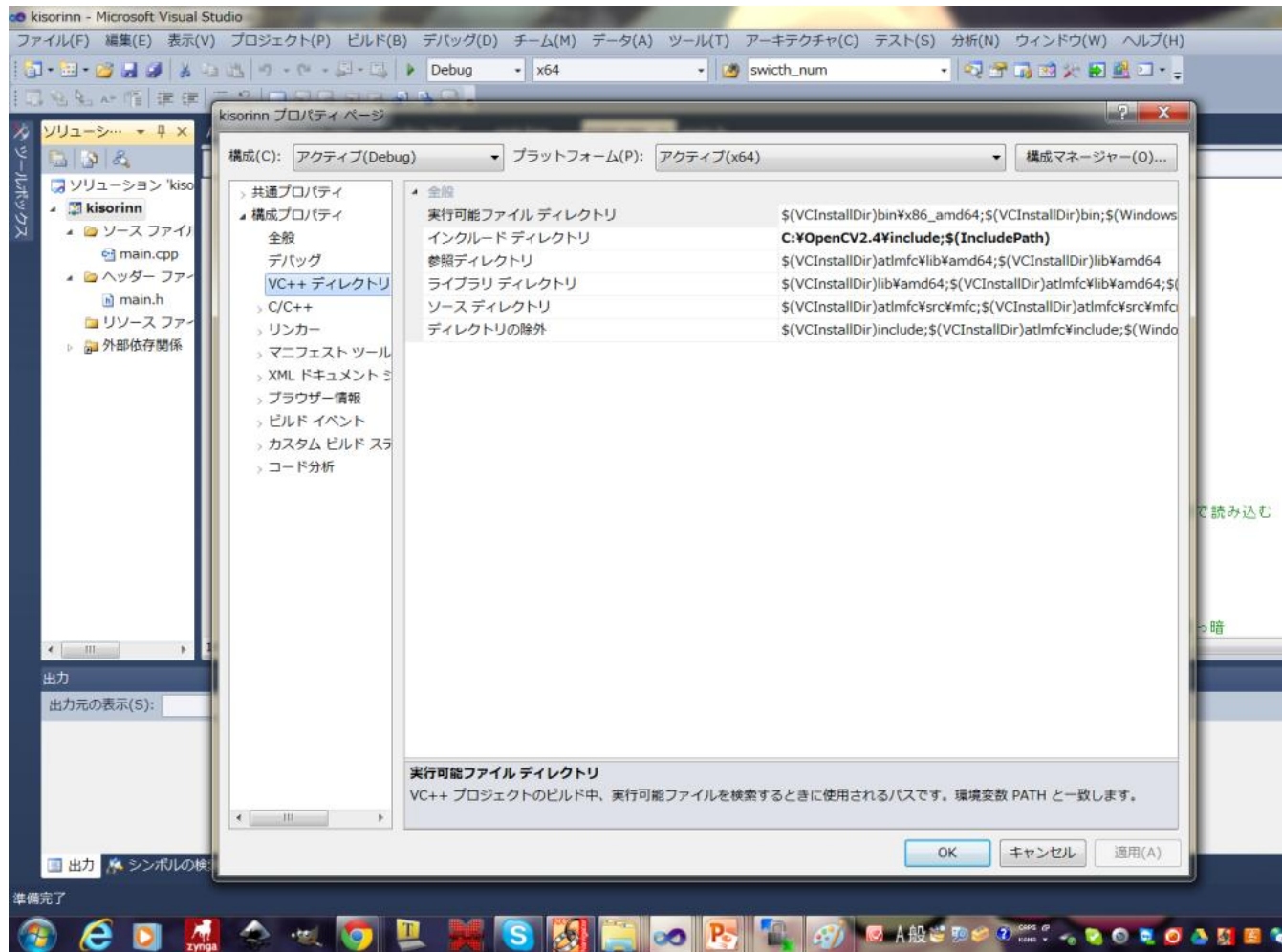


インクルードディレクトリの設定

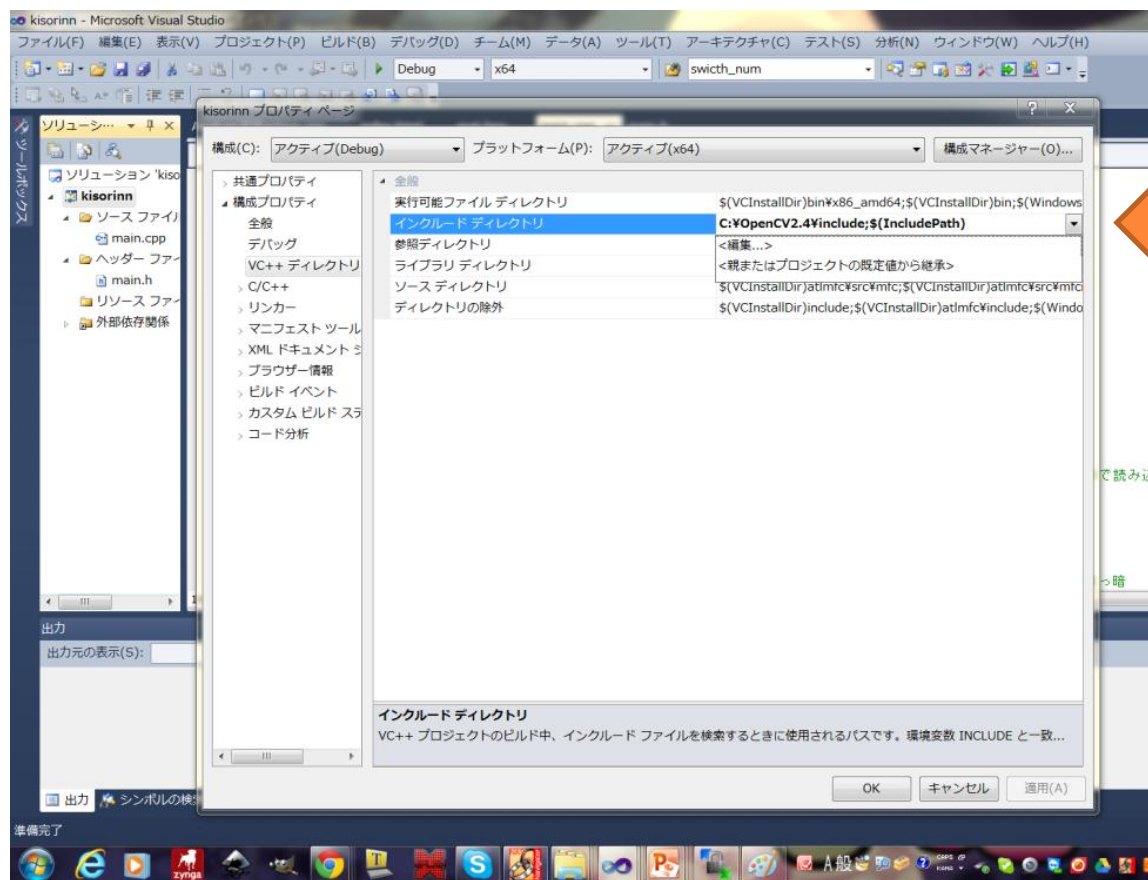
- プロジェクト名を右クリック → プロパティ



○ VCC++ ディレクトリ → インクルードディレクトリ



○ 右端に出る → をクリック → 編集 → ディレクトリを指定



- 同じようにプロジェクト名を右クリック → プロパティ
- リンカー → 追加の依存ファイルで設定

